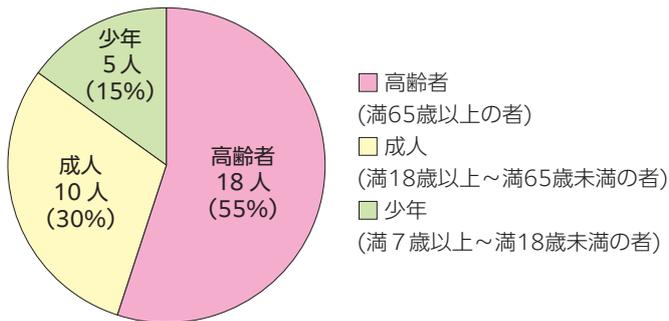


熱中症から大切な命を守りましょう！

令和6年6月～9月に大崎町で熱中症により搬送された方は、33人でした。

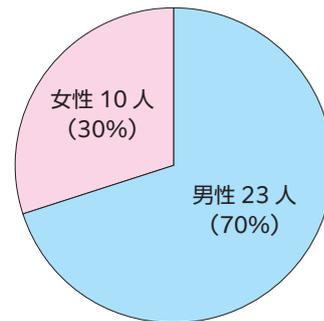
熱中症は、命に関わることもあります。一人ひとりが意識して対策をおこなうことで、防ぐことができる病気です。大崎町における熱中症の状況から、ご自身、大切なご家族の健康のために、今日からできる熱中症対策を実践しましょう。

年代区分別 熱中症搬送者数



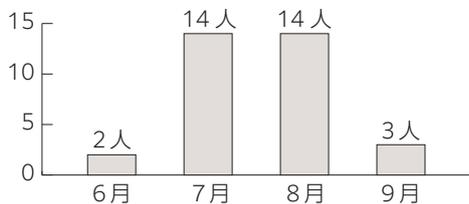
熱中症で搬送された方の半数以上(33人中18人)が「高齢者(65歳以上)」です。高齢者の方は、体温を調節する機能が低下しているため、こまめな水分補給や涼しい場所での休息を心がけましょう。

性別 熱中症搬送者数



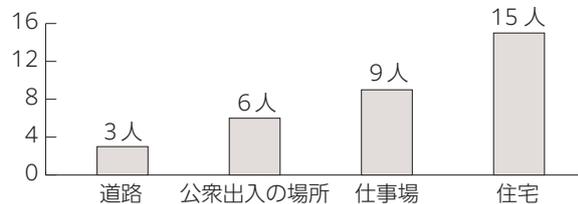
男性の搬送者数が多い傾向にあります。屋外での作業やスポーツをされる方は、特に注意しましょう。

令和6年6月～9月の月別 搬送者数



7月と8月に集中しています。この時期は、特に気温が高くなるため、より一層の警戒が必要です。

発生場所別 搬送者数



住宅が15人と、全体の約半数を占めています。これは、「家の中にいるから大丈夫」という考えは危険であることを示しています。室内でも十分な熱中症対策が必要です。

データ元：大隅曾於地区消防組合消防本部

●大崎町では「クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)」を3か所指定しております 「クーリングシェルター」とは

熱中症特別警戒アラートの発表期間中に危険な暑さから避難できる場所として、一般開放されるものです。日々の熱中症予防情報は、こちらから確認できます。→



施設名	開放日	時間帯	受入可能人数
大崎町役場本庁ロビー	平日(祝日を除く)	8時30分～17時15分	20人
大崎町役場野方支所	平日(祝日を除く)	8時30分～17時15分	10人
大崎町立図書館	開所日・時間に準ずる		20人